

災害からの復旧

令和2年度一般

予算の主要事業を『目的ごと』

目的	誕生の世代 《出産・幼児期》	学びの世代 《就学期》
災害対策		防災・減災まちづくり会議運営等事業
		防災行政無線デジタル化実施事業
		東部地域防災センター（仮称）建設事業
		防災空地整備事業
		農地及び農業用施設災害復旧事業
地域の活性化		筆の里工房事業
		筆の里工房周辺整備事業
子育て・教育	保育所等運営一般事務事業・ 保育所等運営事業 8億2,129万円	
	くまの・こども夢プラザ管理 運営事業 1,528万円 母子保健事業 2,568万円	
	感染症対策事業 6,903万円	
		放課後児童健全育成事業 4,833万円
		小・中学校大規模改造事業 トイレ改修工事 (別途繰越予算4億600万円あり)
健康		小・中学校大規模改造事業 校内通信ネットワーク整備工事 (別途繰越予算1億5,120万円あり)
交通		

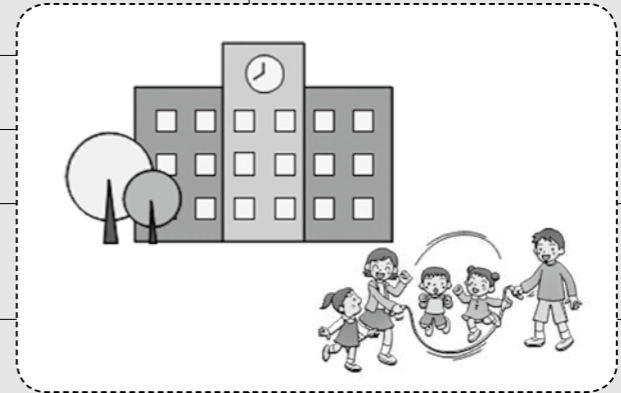
・復興を優先！

会計予算案を可決 （総額 93億5,608万円 昨年度より4%（3億9,146万円）の縮小！）

『世代別』にまとめました。

（数値については表記単位未満を四捨五入しています）

働き盛り世代 《青年・壮年期》	シルバー世代 《熟年期》	事業の概要
597万円		防災・減災に関わる町民の役割を明確にし、継続的に推進。
2億2,360万円		非常時における多様な情報収集・伝達手段を確保。
2,823万円（別途繰越予算 5億9,500万円あり）		第二小学校体育館、東公民館に代わる防災拠点施設を整備。
3,500万円（別途繰越予算 4,000万円あり）		大原ハイツに追悼の場・伝承の場を整備。
2,879万円（別途繰越予算 3,550万円あり）		農地、農業用施設を復旧。
1億3,182万円		筆の里工房の円滑な運営。
8,932万円（別途繰越予算 595万円あり）		体験交流を中心とする「観光交流拠点」として公園を整備。
子育て世代「住むならくまの」 応援事業 1,500万円		若年層の定住を促進。 住宅の購入への助成金。
		認可保育所と認定こども園（各3施設）の教育・保育の充実。 延長保育等のニーズに対応。
		「くまの版ネウボラ」保健師の配置と関係事業を実施。 各種検診や育児相談を実施。
		定期予防接種を実施。
		共働き家庭等の児童の健全育成。
		安心して学校生活を送るための快適な環境整備に向け洋式トイレに改修。
		「GIGAスクール構想」の実現に向けた高速大容量通信ネットワークの整備
		生活習慣病予防対策事業 4,174万円
		健康づくり・介護予防ポイント事業 168万円
		交通輸送対策事業 3,319万円
		住民健診や健康教育、健康相談等を実施。
		ボランティア活動等へポイントを付与、奨励金を還元。
		生活福祉交通「おでかけ号」運行。公共バス路線の運行を確保。



当初予算
予算審議
議会審議
一般質問
議会・委員会活動
あじやあじやになったんかいの?

当初予算
予算審議
議会審議
一般質問
議会・委員会活動
あじやあじやになったんかいの?